

ASA

Newボイス朝日は、ASA朝日新聞販売所から朝日新聞購読者の皆様にお届けしています。

- 024-938-8888 0248-75-3721
024-922-2734 0248-76-8158
024-946-1464 0248-23-3373
024-951-2214 0248-42-3231
024-932-2798 0247-26-1481
024-959-2106 0247-62-2264
024-955-2013 0247-67-1955
024-958-2641 0243-34-2033
024-984-3621 0243-22-0621
024-956-2497 0248-937-1241

New No.413 2011年 6月17日号 ボイス朝日

ニューボイスアサヒ 毎月第1・第3金曜日発行

ロマリダクリニック



診療科目 婦人科 心療内科 アレルギー科
024(924)1161

診療時間表

がん健康相談外来

医学博士 星野泰三

企画・編集・発行/株式会社 ボイス 編集長/大内康夫 編集部〒963-8034 郡山市島1丁目7-18 サンライズ島301 TEL&FAX024(924)5188

ボイス次号は7月1日第1金曜日発行です

浪江町



自ら被災地に足を運び、記録し、伝える

作家 星亮一さん



郡山市在住の歴史作家、星亮一さん(60)は、今回の東日本大震災及び原発事故の被災地に精力的に足を運び、雑誌やホームページなどで情報を発信している。星さんはなぜ被災地に足を運び、何を伝えたいのか。さまざまな思いを伺った。

3月11日、星さんは郡山市内の仕事場でその瞬間を迎えた。本や書類が散乱し、足の踏み場もなくなくなった仕事場。新幹線が不通になり、ガソリン不足で身動きもとれない。断水や物不足。ぼうぜんとして立ち止まっていた。東電電力福島第一原子力発電所の爆発があった。原発周辺には避難命令が出され、いかに福島県は世界中に注目されるようになった。何が起こったのか、どうなっているのか、自分ので確かめたかった。と、星さんはガソリンが手に入って間もなく被災地に向かった。依頼があったわけではなく、作家として、そしてかつて新聞社やテレビ局で報道の世界に身を置いてきた経験からも、じっとしていられなかったのだという。南相馬市、新地町(相馬郡)、宮城県仙台市、名取市、女川町(牡鹿郡)…。涙を流しながらテレビで見た映像が、心を痛める。

「避難区域の7万人もの住民がこれからどうなるのか、それにどうして国や県の対応には正直を言って不満を感じます。実際に長期間にわたって戻れないのであれば、皆さんの生活をきちんと考えた対策を講じるべきです」

「東北の海辺の山村は、よく『日本の良い時代が残っている』とか、『日本の原風景』と称されてきました。けれど、逆を言えば、インフラが遅れていたということなんです。それが今回の津波で露呈した。道路がスタスタに分断され、支援物資の輸送すらままならない。政治の目が東北を向いていなかったことを感じました」

「いずれにしても自然にはかなわないというところを、星さんはその復興にも大きな期待を寄せた。『いきる』にしても自ら被災地に足を運び、記録し、伝える。星さんは、世の中はいつ何が起ころかわからない不条理なものだという思いを強くしたという。『だからこそ、今、この瞬間を大切にしなければならぬ』と感じました」



取材に執筆に、忙しい毎日を送る星さんは、年齢よりはるかに若い、行動派である。歴史の方はしばらくお預けだね」と、星さん。これまで緻密な取材を元に、さまざまな歴史上の人物を魅力的に描いてきた。恐らくは大きな歴史の「こま」となるであろう今回の大災害を、現場に居合わせた作家としてきちんと見つめることを自らの使命と課している。話を伺って、そんな印象を抱いた。(取材・文/H・K)

※写真提供 星亮一 オフィシャルサイト http://www.mh-c.co.jp/